

社会資本総合整備計画														事後評価書				
計画の名称	幹線道路の劣化した舗装の修繕と安全な歩行空間の確保をはかる道路整備（防災・安全）																	
計画の期間	平成31年度～令和05年度（5年間）														重点配分対象の該当			
交付対象	春日井市																	
計画の目標	主要な各地区を縦断する地域幹線道路の沿道には、住宅・学校等が立ち並び交通量が多く路面損傷が著しいため、幹線道路中期整備計画に基づき、優先的に対策を実施すべき箇所より順次舗装修繕を進める。 駅等へのアクセス道路として交通量が多く、歩行者が安全に通行できる路肩幅員がない既設の河川道路橋に歩道橋を併設し、歩行者の安全を確保する。																	
全体事業費（百万円）		合計（A＋B＋C＋D）		660	A	660	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / （A＋B＋C＋D）		0	%		

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H31当初	H33末	H35末
1	優先的に対策を実施すべき幹線道路の舗装修繕を順次進め、最終目標時期までにA=120,000㎡を完了 優先的に舗装修繕が必要な幹線道路に対する対策率を算出する。 対策率（％）＝（対策実施済み面積／最終目標面積）×100	0%	60%	100%
2	当該学区の自転車・歩行者事故率をH30を100％とし、70％（H36）に減少 警察署集計の学区内の自転車・歩行者年間事故件数データから事故率を算定する。 事故率（％）＝（H36事故件数／H30事故件数）×100	100%	%	70%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
道路事業	A01-001	道路	一般	春日井市	直接	春日井市	市町村 道	修繕	（ １ ） １ ０ ４ 号線外 ５ ８ 路線	舗装修繕 59路線 A=120,00 0㎡	春日井市	■	■	■	■	■	480		策定済	
	A01-002	道路	一般	春日井市	直接	春日井市	市町村 道	新設	（ 他 ） ２ ４ ５ １ 号線外 １ 路線	橋梁架設 N=2橋（2451号線 天王寺橋歩道橋、4532号線善 光寺橋歩道橋）	春日井市	■	■	■	■	■	180		未策定	
											小計							660		
											合計							660		

事後評価

○ 事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

事業担当課である春日井市建設部道路課にて事後評価を実施した。

事後評価の実施時期

令和7年度

公表の方法

春日井市のホームページで公表

○ 事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

- ・春日井市の幹線道路の舗装整備を行ったことにより、既存の道路機能を維持し、安全性が向上した。
- ・路肩幅員のない既存の河川道路橋に歩道橋を併設することで、歩行者の安全性が向上した。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

○ 特記事項（今後の方針等）

引き続き、整備計画に基づき、道路施設の維持管理を効率的・効果的に実施し、安全・安心な道路ネットワークを確保する。

○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1			
	最 終 目標値	100%	値の差については単独費にて施工
	最 終 実績値	42%	
2			
	最 終 目標値	70%	道路工事以外の要因によるもの
	最 終 実績値	88%	